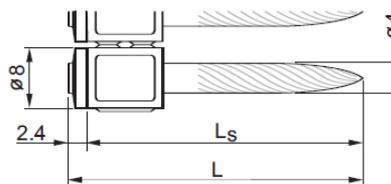


製品情報

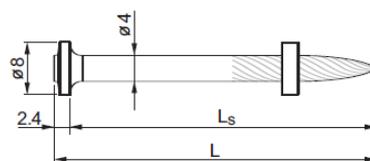
X-U15_72MX, X-U16_72P8

1. 仕様図

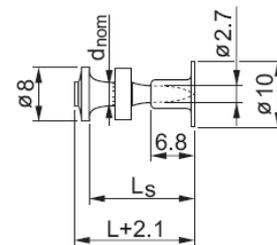
X-U__MX



X-U__P8



X-U 15 P8TH



2. 材質

1.1230/C65S1-EN 10218-2 (JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材改良材)

3. ロックウェル硬さ

HRC 58

HRC 59 (X-U15)

4. 表面処理

電気亜鉛めっき 5-13 μ m

5. コンクリート母材

X-U22 平均引抜強度: 3.18kN 変動係数: 37.8% 貫入長: 20.1mm コンクリート圧縮強度: 54.7 N/mm²

X-U27 平均引抜強度: 4.04kN 変動係数: 35.4% 貫入長: 24.5mm コンクリート圧縮強度: 30.9N/mm²

許容安全荷重*

| | | |
|-----------------|--------|-------|
| コンクリート貫入長27mm以上 | 引張/せん断 | 0.4kN |
| コンクリート貫入長22mm以上 | 引張/せん断 | 0.3kN |
| コンクリート貫入長18mm以上 | 引張/せん断 | 0.2kN |
| コンクリート貫入長14mm以上 | 引張/せん断 | 0.1kN |

* 条件

- 最小母材厚: 80mm
- 端空き距離: 70mm以上

- 母材圧縮強度 : $F_{cc} \leq 45\text{N/mm}^2$
- 群留付け (例: 取り付け物ごとに最低5箇所の留付けを行うなど)
- 目視で確認できる失敗打釘があればすべてやり直して下さい

6. 鋼材母材

許容安全荷重 X-U16、X-U19 静荷重

| 取付物厚 | 引張 | せん断 |
|--------|-------|-------|
| 0.75mm | 1.0kN | 1.2kN |
| 1.00mm | 1.2kN | 1.8kN |
| 1.25mm | 1.5kN | 2.6kN |
| 2.0mm | 2.0kN | 2.6kN |

最小母材厚 6mm(鉄板を鋼材へ留付けの場合) 4mm(木材を鋼材への留付け)

最大取付物厚 6mm(下穴必要)

端空き距離15mm以上

取付物が3mm以下

*下穴必要無し

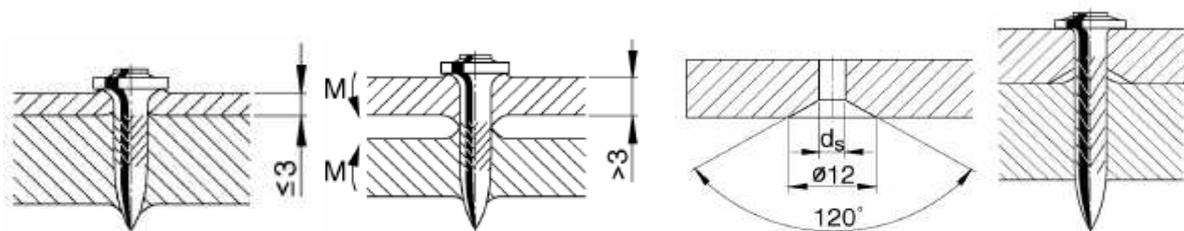
取付物厚が3mmを

越えたと下記のように

にガタツキが生じます

下図のようにシャンク径(4.0mm)

と同じ下穴を空けて下さい



仮留めピンX-U15の許容安全荷重 (デッキ強度 360N/mm^2 以下) 静荷重

デッキ厚 0.75-1.25mm 引抜: 0.6kN せん断: 0.8kN

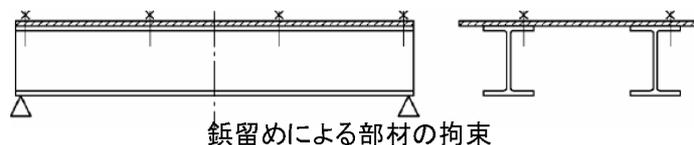
7.

注意点

拘束による荷重

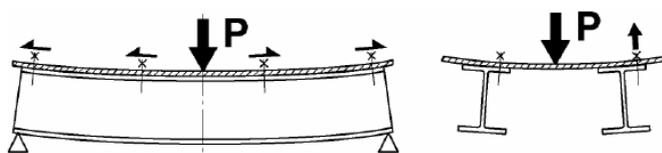
大きな鋼材部を留め付ける場合、拘束による荷重の影響を考慮しなくてはなりません。

この時、せん断の許容安全荷重 V_{rec} を上回ることを避けて下さい。

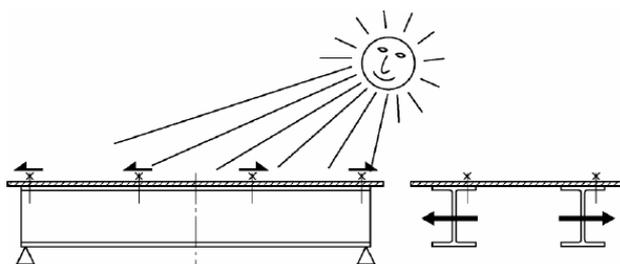


鋸留めによる部材の拘束

集中荷重の載荷によるたわみによる変形



温度変化による変形



8. 木材から鋼材への打鋌 最小母材厚:4.0mm 木材取付物厚 15mm~57mm

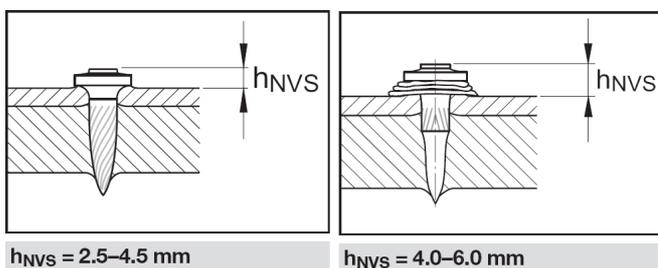
許容安全荷重 引張 0.3kN せん断 0.6kN

9. 鋌立上り

鋼材に打鋌される鋌の立上りは以下の範囲に収まるよう空包選択、威力調整をお願い致します

X-U _ P8/MX/MXSP

X-U _ P8TH



2009年11月ヒルティコーポレーション発行、ダイレクトファスニングテクノロジーマニュアルより抜粋

2010年12月20日